

**特定非営利活動法人エーキューブ**  
**平成25年度 事業報告及び決算報告書**

期間：平成25年4月1日～平成26年3月31日

平成26年5月20日

## 総括

### <動物の防災と救護に関して>

東日本大震災から3年目を迎えた平成25年度は、県内の被災地において災害公営住宅の姿が見え始め、それぞれが事情を抱えながらも前に向かって新しい生活を始める準備の年となりました。本会の震災関連支援の主な動きとしては、物資支援から個々の相談に対応することへと内容が変化していきました。仙台市被災動物救護対策本部の構成団体の一員として、3月の仙台市復興公営住宅の入居説明会においてペット連れ入居者の方に向けた説明を担当しました。尚、対策本部事業は今年度いっぱい収束する方向でしたが、復興の歩みは遅く次年度へ継続する方向です。また、仙台市総合防災訓練において「ペット同行避難」の啓発活動の継続や、「ペット同行避難」に関する新しい企画にも参加協力をしました。

### <動物介在活動に関して>

主たる動物介在活動は、活動依頼の施設が何件かあるものの活動犬の高齢化等で頭数が減少したため継続して訪問している施設を優先とし、新しく登録申請のあった施設は単発として対応いたしました。また、初めて中学生対象の動物介在教育を行うことができ、課題も多くありましたが次へつながる活動となりました。頭数不足が悩ましい中、今年度入会された方や新しく犬を迎えた方もおられ、セミナーや研修を受講して活動参加への準備をいただき、次年度に期待がふくらみ一緒に活動できる日が楽しみなところでもあります。

### <動物愛護啓発に関して>

仙台市動物管理センターでのシッター業務も年々希望する方が増え、自発的に連携を取り合っただけ毎日お世話が出来るよう工夫されており、センターより大変感謝されました。何より「シッターさん」達を見る犬たちのうれしそうな顔が何にも代えがたい感謝の気持ちに思えます。狂犬病予防接種会場、区民まつり会場等でのマナーアップや適正飼養の啓発活動が少しずつ浸透してきたせいか、最近センター収容動物が以前に比べ少し減ってきているように見えます。“人と動物が幸せに暮らせる街“を目標に活動してきた本会としてとても喜ばしいことです。

今年度も会員の皆さんの多大なるご協力のお陰で無事に活動を行うことができました。心より感謝申し上げます。

# 事業報告

## 1. 動物介在活動・介在療法・介在教育並びに不登校に係わる事業

### 《活動報告》

\*トリック：活動参加動物の得意芸 \*ハンドラー：自身のペットを連れ活動に参加する会員

\*サポーター：ペットを連れずに活動に参加する会員

活動形態	動物介在活動／高齢者（認知症）／集団
施設名	医療法人社団 初心会 杜のホスピタル・あおば（仙台市内）
目的	入院の対象者 15 名とデイケアの対象者 15 名の混在型に対し、動物とのふれあいを通して心身の活性化や情緒の安定を図り、日々の生活への意欲を引き出すなど、単調な時間になりがちな日常の中での楽しみや癒しとなることを目的としています。
概要	<p>&lt;実施日&gt; 全 6 回 参加動物種：犬</p> <p>① 6/19・対象者数：30 名・従事者数： 9 名・犬：4 頭</p> <p>② 7/17・対象者数：30 名・従事者数 12 名・犬：4 頭</p> <p>③ 8/21・対象者数：30 名・従事者数： 11 名・犬：4 頭</p> <p>④ 11/20・対象者数：30 名・従事者数： 9 名・犬：3 頭</p> <p>⑤ 12/18・対象者数：30 名・従事者数： 12 名・犬：5 頭</p> <p>⑥ 1/15・対象者数：30 名・従事者数： 10 名・犬：4 頭</p> <p style="text-align: center;"><b>参加のべ数：従事者 63 名・犬 24 頭</b></p> <p>&lt;活動場所&gt; 杜のホスピタル・あおば 1F ディルームにて</p> <p>&lt;活動内容&gt; 前半後半 15 分ずつの 2 部制混在型の対象者と犬とのふれあいやトリック披露、さらにボランティアとの会話を深め、対象者参加型のトリックを展開するなど、対象者それぞれの状態に応じた関わりが持てるような活動を心がけています。</p>
成果	今年度も毎回欠かさず活動前の打ち合わせをしてきました。そうした中で新しい活動形態を話し合い取り組みました。対象者を 3 つのグループに分け、犬も担当制にしました。ハンドラーは全ての方とふれあいをしなければと言う気持ちがありますが、その負担も軽減されユッタリとした活動になったと思います。前半・後半とも犬は同じ所に行きましたが、お気に入りの犬に会えなかったと思われた方もあったそうで、次年度も工夫をし対象者に満足していただけるよう打ち合わせをしながら進めていきたいと思えます。効果として、対象者が活動中の目の前の犬に対する興味だけではなく、犬の名前や姿を記憶に留めていて下さり、活動日以外にも病棟スタッフに確認したり、また活動中に犬の普段の生活やしつけのことなどをハンドラーに質問するなどの行為が見られました。参加犬とハンドラーも施設の雰囲気によく馴染み、何よりも毎回とても頑張っている犬達が大きなストレスを感じずに活動を楽しんでいることが、対象者やスタッフにも良い影響を与えていると感じられます。活動への理解度が高く協力的な施設なので、今後もその信頼関係を保ちつつみんなが笑顔になれる活動にしていきたいと思えます。 ※活動報告会実施 H26. 2/26

活動形態	動物介在活動／高齢者／集団
施設名	医療法人社団 清山会 いずみの杜診療所 (仙台市内)
目的	地域在住の高齢者が、「健康教室」において動物とふれあう事により、楽しみ、癒しの機会となると同時に、身体的にも活動性が高められる事を目的とします。また、動物（主に犬、猫）の適切な飼養について知って頂き、地域に広めていく事も目的としました。
概要	<p>〈実施日〉 12/8      参加動物種：犬 対象者数:21名・職員3名</p> <p style="text-align: center;"><b>参加数：従事者11名・犬4頭</b></p> <p>〈活動場所〉 永和台集会所 〈活動内容〉 通常のデイケアでの活動ではなく、デイケアを利用されていない地域の高齢者（健康教室参加者）を対象とした活動です。</p>
成果	<p>永和台での活動は年1回ですが、恒例となっており、地域の方から、「今年はいつやるの?」という声が聞かれているとの事です。前回、参加者のグループ分けの手段として、犬の特大パズルを各グループで行った所、円滑にグループに分けられ、参加者も楽しまれたため、今回も実施しました。今回も好評で、パズルの作成には、診療所に通うデイケアの方が手伝って下さいました。</p> <p>ふれあいやトリックでは、参加者の笑顔が多々見られ、自らお気に入りの犬の所へ向かわれる方もおられました。前回から、犬とのあいさつの方法も話しており、それを覚えて実践して下さい方もおられました。</p> <p>活動後に、動物愛護法の改正があった事にちなんで、終生飼養や適切な飼養についての話もさせていただき、従来の飼養法との違いを感じていただいたと思います。その後に、家族や近所の方との話題となり、活かしていただければと思います。</p> <p>いずみの杜診療所では、上記の活動に加え、動物介在療法も実施する予定でしたが、施設側の準備が整わず、昨年度に引き続き、今年度も実施できませんでした。来年度には実施に向けて、施設側と対象者の選定、実施内容の検討等を行っていきたいと思います。</p>

活動形態	動物介在活動／成人／集団
施設名	社会福祉法人 <b>なのはな会</b> 障害福祉サービス事業所 <b>生活介護 こまくさ苑</b> (仙台市内)
目的	参加動物・飼い主とスタッフが訪問し、重度知的障がい者（通称：ゲンデル）の方と約 30 分の時間を過ごします。身体や視覚・聴覚が不自由な方には施設担当者が付き添いながら、動物とのふれあいを楽しみます。職員の方と綿密な打ち合わせをしながら、対象者の状態（体力や視覚・聴覚・触覚・会話等）に合わせ、動物とのふれあいが対象者に良い刺激となるような活動を行うことを目的としています。
概要	<p>〈実施日〉 全5回 参加動物種：犬</p> <p>① 5/8・対象者数：5名・従事者数：7名・犬：3頭  ② 7/2・対象者数：7名・従事者数：8名・犬：3頭  ③ 10/2・対象者数：5名・従事者数：7名・犬：3頭  ④ 11/6・対象者数：6名・従事者数：6名・犬：3頭  ⑤ 12/4・対象者数：6名・従事者数：8名・犬：3頭</p> <p style="text-align: center;"><b>参加のべ数：従事者 36名・犬 15頭</b></p> <p>〈活動場所〉 こまくさ苑 ゲンデルルームにて</p> <p>〈活動内容〉  毎年同じゲンデルの対象者に少人数でのゆったりとした活動を行います。車いすの方は車いすからおりて畳にあがったり、普段寝ている方が車いすに乗って犬とお散歩したりとかなり活動範囲が広がった内容になりました。対象者一人一人に合わせたきめ細やかな活動となっています。</p>
成果	<p>施設担当者との事前打合せで毎回対象者の方々の動作確認や体調・気持ち等を詳しく解説していただき、それを次の活動に反映させることができました。</p> <p>今年度は特に、同じ部屋の中で車椅子の方(床)と座位や横になっている方(畳)との距離をできるだけ近くなるように配置を工夫していただいた結果、犬の様子や仲間の様子がお互いによく見えるようになり、活動に一体感が生まれました。普段はお世話をしてもらう事の多いゲンデルの方々が犬の毛をブラシで梳かしたり、犬にマッサージをしたり、おやつをあげたり、おもちゃを投げたりなど、自らが関わることで表情に変化が現れ、笑い声や笑顔も多く見られました。大きさや形の違う犬に対して好みや身体の動きなど、新たな一面をかいまみることができました。以前から希望のあった犬と散歩することができて喜んでいただきました。特に天候が良く、苑庭に出られた事がとても楽しく満足されたのでしょ。もっと距離を延ばし、苑外にも行くことができればと期待されています。会員自身も対象者への理解が増し、犬とのふれあいを通してコミュニケーションも深まり、毎回楽しみに参加しています。初めて参加する犬達も先生方のお心遣いを、いち早くキャッチし、リラックスするのが早いと感じられます。次年度は犬との散歩の中に何らかのアクションを取り入れた活動にしていけたらとの希望をお聞きし、それにお答えできるような活動にしていけたらと思っています。 ※活動報告会実施 H26.4/9</p>

<b>活動形態</b>	<b>動物介在活動 / 児童・成人 / 集団 / 仙台市協働</b>
<b>施設名</b>	<b>仙台市動物管理センター</b>
<b>目的</b>	『夏休み！犬と猫と遊ぼう 2013』 動物とのふれあい体験
<b>概要</b>	<p>&lt;実施日&gt; 7/24 参加動物種：犬・猫  対象者数：犬や猫を飼っていない小学生親子 10 組  従事者数：10 名・犬：2 頭 動物管理センター：9 名・犬：3 頭・猫：3 頭</p> <p>&lt;活動場所&gt; 仙台市動物管理センター ホール&amp;会議室</p> <p>&lt;活動内容&gt; 犬や猫のさわり方やしてはいけない事、体の仕組みや行動、散歩の仕方等を獣医師や会員が説明。スタンプラリー形式でふれあい体験。各動物のお世話道具探しゲーム。最後に感想を書いた短冊を笹竹に飾り、模造紙に絵を描いてもらいました。</p>
<b>成果</b>	動物の心音やぬくもりを体感することで自分と同じ命あるものに優しく接する姿が見られました。ゲームを通して動物と暮らす事はお世話が必要であると伝える事で、今後動物を家族に迎える時に必要な基本的な飼養方法を親子で考える良い機会になったと思います。

<b>活動形態</b>	<b>職場体験・見学における動物介在活動 / 児童・生徒 / 集団 / 仙台市協働</b>
<b>施設名</b>	<b>仙台市適応指導センター 児遊の杜 各社のひろば（仙台市内）</b>
<b>目的</b>	施設や働く職員の様子を見学し、ボランティアの役割体験を通して動物愛護や人との関わりを深めるとともに、自立心を養う、との参加側のねらいをサポートします。
<b>概要</b>	<p>&lt;実施日&gt; 全 2 回 参加動物種：犬&amp;猫  ①12/9・対象者数：21 名 従事者数：6 名  ②12/12・対象者数：26 名 従事者数：4 名</p> <p>&lt;活動場所&gt; 仙台市動物管理センター 会議室&amp;ホール</p> <p>&lt;活動内容&gt; 動物管理センターの施設説明・見学および譲渡候補犬猫とのふれあいやお世話の一部を体験。動物の特徴を譲渡会でアピールするメッセージカードを作成しました。</p>
<b>成果</b>	通常に通級が困難な児童生徒が、興味のある動物に関する施設を見学したりふれあう機会を得る事で、公共交通機関を利用して参加する姿は生き生きと自信につながっていました。譲渡候補犬・猫の特徴をよく観察して、譲渡会で新しい飼い主に早く巡り合えるよう作成したメッセージカードが、引き取る決め手になったとの報告がありました。

<b>活動形態</b>	<b>動物介在教育 / 児童 / 集団 / 仙台市協働</b>
<b>施設名</b>	<b>七北田小学校（仙台市内）</b>
<b>目的</b>	「犬と仲良く」生活科の授業の一環として
<b>概要</b>	<p>&lt;実施予定日&gt; 2/18 参加動物種：犬 ⇒ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">学校側の都合で前日に中止決定</span>  対象者予定数：小学 1 年生 108 名 先生：5 名  参加予定数：従事者数 17 名・犬 8 頭 / 動物管理センター職員 6 名・犬 2 頭</p> <p>&lt;活動場所&gt; 七北田小学校 体育館</p>
<b>成果</b>	初めての活動先として先生方と理想的な打ち合わせができました。目的等を共通理解するために必要な時間を確保する事が安全で有意義な活動につながる事を実感しました。

活動形態	動物介在活動／高齢者／集団
施設名	社会福祉法人こーぶ福祉会 こ～ぶのお家 <sup>うち</sup> 緑ヶ丘 (仙台市内)
目的	介護が必要となった在宅の高齢者が通所するデイサービスセンターにおいて、動物とふれあう活動を通して心身のリフレッシュや安らぎの時間を過ごしてもらいます。また、事前に対象者の方に活動内容を説明することで、犬との関わりを思い出すきっかけになり、退場曲を選ぶ話し合いの時間をもつことで対象者同士の会話に弾みをつけます。
概要	<p>&lt;実施日&gt; 8/7 参加動物種：犬 対象者数：17名・職員10名</p> <p style="text-align: center;"><b>参加数：従事者8名・犬3頭</b></p> <p>&lt;活動場所&gt;緑ヶ丘デイサービスセンター1階ホール &lt;活動内容&gt; 30分間の活動。コの字に設置した椅子に対象者が腰かけている状態で「さわり方」「おやつあげ方」を事前説明した後、犬と一緒に入場。自己紹介、トリックをはさみながら前後にふれあい体験を入れました。大型犬2頭(1頭は初参加)と中型犬1頭が互いの距離に注意しながら、様々な状況の対象者になる・おやつをあげる・トリック観賞・会話などで参加いただきました。犬が苦手な方は後ろの椅子に座って見学。「犬のおまわりさん」の大合唱で見送られながら退場しました。</p>
成果	<p>前年度から要望をいただいていた活動だったので、新規事業として余裕をもって対応することができました。職員のご家族がこの活動を理解していて推薦があったとのことで、活動内容の説明や準備に協力的に対応してくださり、初めての施設としてはスムーズで安全な活動となりました。しかし、真夏、控え室が2階、対象者が様々な状態、家族の理解をいただく…など、初活動としては困難も多く対策に万全を期す必要がありました。それに対して施設側はエアコン作動、エレベーターの使用可、活動場所の敷物の用意、特殊な対象者の情報開示、家族へ事前にお知らせする、犬の話題を盛り込みながら退場曲に参加する方々に決めてもらうなどのアプローチをして対処してくださったお陰で、他の職員も含め施設が一体感を持って我々を迎えてくださっていると感じられました。初参加犬や高齢犬のサポート、犬が苦手な夏場の活動、控え室からホールまでの長い廊下の養生、対象者の不意な行動対策などいつも以上の緊張と工夫を要するハイレベルな活動にも関わらず、無事に終わることができたことは全ての方々の協力の賜物と思えます。日頃は集中力が続かない方も最後まで笑顔で楽しんでいたり、終わってからも犬の話題でもちきりだったとの報告があり、次年度も是非活動をお願いしたい、と活動直後に要望をいただきました。</p>

活動形態	動物介在活動／成人／集団
施設名	社会福祉法人 仙台市手をつなぐ育成会 工房しらかば（仙台市内）
目的	通所型授産施設に通われている方を対象に、動物とふれあうことによって情緒面のリラックス効果や脳の活性化などを引き出し、コミュニケーション能力の構築を必要とする方との、かかわり合いのきっかけ作りに関与します。 高齢化・活動意欲が低下している対象者が生き生きとした生活を送れるよう、動物とふれあう機会を設け、生活の質の向上につながっていくことを目的としています。
概要	<p>〈実施日〉 10/30 参加動物種：犬 対象者数：10名・職員3名</p> <p style="text-align: center;"><b>参加数：従事者8名・犬2頭</b></p> <p>〈活動場所〉 工房しらかば 2階</p> <p>〈活動内容〉 施設側からの要望もあり、動物介在教育の要素も含め、動物とのふれあいの前に『3つの約束』をお話ししました。初めての動物介在活動ということで犬とのあいさつ、やさしいさわり方、おやつあげ方を、実際に犬にやってみせる形で説明しました。対象者には座っていてもらい、犬から側に行きふれあってもらいます。人も犬も初めての場所での活動なのであまり密なふれあいにならないよう、トリックなども交えて様子をみながら活動しました。</p>
成果	<p>単発の介在活動で、且つ常時食品を扱う施設であるため打合せは入念に行いました。動物の出入り、立ち入れる場所にも制限があるので衛生面等には特に気を遣った活動でありました。</p> <p>施設側から、参加予定の対象者の心身の状態や、これまで動物とどのようなかかわりがあったかなど詳しく教えていただいたので、ふれあいの際のアプローチの仕方など工夫することができたように思います。</p> <p>ふれあいでは、積極的に犬をなでたりハンドラーやスタッフとはっきりと会話する方、犬とは一定の距離を保ち手を出そうとはしないものの、退室することなく活動に参加している方などそれぞれのペースでかかわりながら、何か感じていただけたのではと思います。</p> <p>活動前には落ち着かない様子でいた対象者が、活動中は落ち着いて、安定した様子だったという施設担当者からの報告があり、施設職員の方々も利用者の違った一面を見るきっかけになった活動だったのではと思います。</p> <p>活動報告書にも活動終了後、利用者が職員に甘えてきたり、うっすら笑っている様子も見られた等、変化の様子も報告されています。</p> <p>今後継続した訪問活動先になるかどうかは未定ですが、食品を扱う現場での動物を連れた活動は、非常に気を遣うものであり、活動を企画する側からすると難易度が高い訪問活動先であると言えます。</p>



活動形態	動物介在教育／集団／仙台市／仙台市被災動物救護対策本部
施設名	荒井小学校用地応急仮設住宅（仙台市内）
目的	<p>仮設住宅で暮らす子ども達対象『犬と遊ぼう 2013 』</p> <p>活動の前に行われた柴内裕子先生による動物介在活動ボランティアセミナーで学んだ内容の実践の場として、犬を介した被災児童の心の支援活動を行います。</p>
概要	<p>&lt;実施日&gt; 6/27 参加動物種：犬  対象者数：20名（乳幼児(0～5歳)11名、小学生7名、中学生2名)  従事者数：12名・犬：3頭  動物管理センター7名  JAHA CAPP 犬3頭、柴内裕子先生他スタッフ2名、見学14名</p> <p>&lt;活動場所&gt; 荒井小学校用地応急仮設住宅集会所  &lt;活動内容&gt;  最初に犬と仲良くなるためのお約束をお話し、自己紹介ではそれぞれの犬がトリックを披露して、見ている方たちに親しみや安心感を持ってもらいました。次に、犬とのあいさつのしかたやおやつあげかたを学んでもらった後、好きな犬とふれあってもらいました。犬と一緒に遊んだり、お散歩したり、犬を抱っこしたり、犬のトリックを見せてもらったり、犬の絵を描いたり、獣医師会の先生に聴診器で心臓の音を聴かせてもらったり、とさまざまでしたが、全体になごやかで温かい雰囲気になりました。遅れて入ってくる参加者のために、ふれあいのしかたを描いたポスターを貼っておき、いつでも見てもらえるようにしました。</p>
成果	<p>3年目となる今回の活動でもたくさんの笑顔をいただきました。仮設住宅内の集会場での活動ということで人の出入りを制限しないオープンな活動となり、活動に参加している児童、生徒、乳幼児とその母親だけでなく、セミナーを受講した見学者や窓の外から覗いていた方まで、すっかり癒された笑顔が見られました。第1回から参加している子どもたちが今年は中学生になっていましたが、犬にまた会いたい一心で、下校後急いで駆けつけてくれました。彼女たちの成長の様子をうかがうことができたのも大変嬉しいことでした。また、昨年に引き続き、柴内先生グループと一緒に活動できたことで、私たちも多くのことを学ぶことができました。先生方のパートナーである犬に対する接し方、お子さんたちに向けられる温かい言葉や表情など、大変よい勉強の機会でした。柴内先生に、このような年齢差のある活動では、急な変更にも対応できることが必要ですが、とてもよくできていました、とお褒めいただき、今後の活動にもつながる心の支えとなりました。</p>

活動形態	動物介在療育／児童／集団&個別／仙台市協働
施設名	仙台市適応指導センター 児遊の杜 (仙台市内)
目的	不登校の児童生徒が困難を乗り越えて通級し始める不安な時期に、犬の存在をきっかけに、会員と自然にコミュニケーションがとれるようになることや、様々な学年の複数の児童生徒が同じ空間で犬が存在しながら一緒に時間を共有することにより、他者との関係作りに一歩踏み出すきっかけに関与します。
概要	<p>〈実施日〉 全7回 対象者参加のべ人数 計70名 参加動物種：犬・猫</p> <p>① 11/ 7・対象者数：21名・従事者数：8名・犬：2頭</p> <p>② 12/ 3・対象者数： 3名・従事者数：3名・猫：1頭 ※個別対応</p> <p>③ 12/12・対象者数： 9名・従事者数：8名・犬：2頭</p> <p>④ 1/ 9・対象者数： 9名・従事者数：8名・犬：3頭</p> <p>⑤ 2/ 6・対象者数：13名・従事者数：7名・犬：3頭</p> <p>⑥ 2/26・対象者数： 1名・従事者数：3名・猫：1頭 ※個別対応</p> <p>⑦ 3/ 6・対象者数：14名・従事者数：5名・犬：2頭</p> <p style="text-align: center;"><b>参加のべ数：従事者42名・犬12頭・猫2頭</b></p> <p>〈活動場所〉 仙台市適応指導センター 児遊の杜3階教室</p> <p>〈活動内容〉</p> <p>会員と一緒に暮らしている成犬・成猫（健康診断や適性検査をクリア）&amp;飼い主と会員（成人）が訪問し、児童生徒と一緒に過ごすことにより彼らに変化や気づきを与える活動です。児童生徒が動物との信頼関係を徐々に築いていく様子を見守りながら、動物を通して会員とのコミュニケーションも自然に行えるようゆったりとした雰囲気を保ちます。小集団の活動では児童生徒達が一つの教室で楽しみながら一緒に時間を共有することが出来るようになる内容になっています。個別の活動では動物の存在が教室に入る不安や初対面の人に対する緊張を取り除いてくれます。短い時間でも児童生徒が楽しい体験ができるように様々な工夫をしました。</p>
成果	<p>新しく担当になられた主事の先生や引き続き担当くださった相談員の先生のご協力の下、細やかな打ち合わせを継続的に行えた事で、今年度の児童生徒の特長や要望などがわかり、活動内容を組み立てるうえで大変参考になりました。集団でありながら個を把握できる情報提供のおかげで、回数を重ねる程に子ども達と犬と会員の距離が近くなっていき親しみをもって活動ができました。お互いに自己紹介をする、犬とのふれあい方や触ってはいけない時、犬の特徴などを講話やゲーム形式を取り入れて繰り返し行う事で、犬への関心からその先に居る人間への関心につながる何かを感じてもらえる内容でした。また、1年間の集大成である「七つ杜の会」の発表で合唱を披露する企画と犬の一芸「タンバリンを叩く」練習を手伝ってもらった事を併せた活動を盛り込んだ事が、当日の一致団結した発表につながり目標達成の一役を担ったとの報告をいただきました。個別対応では、猫とふれあう事がきっかけで通級につながるという本来の活動目的が達成できました。通級する児童生徒はいろいろな事情を抱えていることを理解して、動物と一緒に関わる本会の活動が「多くの目」の一つとして子ども達に寄り添う姿勢を大切にできるように、ますます研修を積み重ねていきたいと思っております。来年度も引き続き活動の要請をいただきました。</p>

活動形態	動物介在教育／児童／集団／仙台市協働
施設名	八軒中学校（仙台市内）
目的	<p>中学3年生の福祉学習の一環の中で、本会が行っている活動を通してハンディキャップ体験をします。福祉に対する関心を高め、生徒自身の力が社会に貢献できることがあるという意識を持ってもらう機会につなげます。また、ボランティア団体の役割と具体的な活動について学ぶ機会に関わり、多様なボランティアの在り方を認識してもらいます。</p>
概要	<p><b>実施日</b> 8/10    <b>参加動物種</b>：犬  <b>対象者数</b>：中学3年生 145名    先生 10名・見学 1名（保護者）  <b>参加数</b>：従事者 15名・犬 6頭</p> <p>〈活動場所〉 八軒中学校体育館  〈活動内容〉  犬と対峙した時の人間側の対応方法の基本的なプレゼンテーションを行った後、動物介在活動の意義や活動するうえで気をつけている点を犬と飼い主が具体的な例で示し、活動犬を通して動物にも福祉がある事を「5 フリーダム」に関連させて提案しました。また、多様な活動現場での本会の活動を実際に生徒に体験してもらうことで、動物や人間や道具などいろいろな力が福祉現場で活躍している事を体感してもらいました。</p>
成果	<p>会として初めて中学生対象の活動を行うことができました。貴重な機会を得て本来ならば今後につながる基盤作りをして臨みたいところでしたが、厳しい条件（準備期間が短い、犬が最も苦手な夏場、大人数の思春期の対象者、他の活動の間で参加犬調整が困難極まった）が重なり、十分な準備が整わない中での活動になりました。その様な中、熱心な担当の先生方や会員のみなさんの協力のお陰があつて、無事に終わることができました。福祉体験と動物介在活動の関連性の吟味が甘く全体として犬に負担が多くかかってしまいましたが、会員の皆さんや先生方の一生懸命な姿勢や無邪気な犬の存在は多感な時期の子ども達に何らかの影響を残したと思います。特に動物介在療法の実技場面は福祉の概念を超えた画期的な状況として映った様で、犬の能力を生かして人のパートナーとして活躍する姿に感動した、と感想をもらいました。課題はたくさん残りましたが、中学生対象の活動の第一歩を踏み出せたことは今後の会の発展に大いに繋がる活動となりました。</p>

活動形態	動物介在教育／児童／集団／仙台市協働
施設名	仙台市中山市民センター・中山児童館（仙台市内） （ボランティア養成講座付帯事業）
目的	今年度も動物介在活動ボランティアセミナーの一環として実施します。 中山児童館に通う小学生を対象に、犬とのふれあい方やさわってはいけない時を学んでもらった後、実際に犬とふれあうことで、犬の生態を知るだけでなく、優しく穏やかな気持ちになり、人や他の動物にも優しく接することにつなげていくことができるよう支援します。 また、セミナー受講者である小学6年生と中学2年生の兄弟には、ボランティア活動の実践としての学習の場を提供します。
概要	<p>&lt;実施日&gt; 10/16 参加動物種：犬 対象者数：小学生 36 名・職員 8 名＋見学者 9 名 <b>参加数：従事者 18 名・犬 6 頭</b></p> <p>&lt;活動場所&gt; 中山市民センター体育館 &lt;活動内容&gt; 60 分間の活動で、犬と仲良くなるためのあいさつの仕方やさわり方、さわってはいけない時など基本的なマナーを学んでもらい、その後グループごとに犬とのふれあい、ゲームを通して犬や飼い主との共感を高めました。また活動終了後、子どもたちは犬の絵や感想を書いて活動の振り返りをしました。</p>
成果	<p>今回はボランティアセミナー受講対象者を小・中学生にも広げ、セミナー受講者の中の高学年の生徒には、ボランティア活動の実践の場として、この活動に参加してもらいました。ミーティングへの参加からプレゼンテーションの手伝い、子どもたちの世話などに従事し、活動終了後も子どもたちのお絵かきにずっとつきそってくれました。子どもたちにわかってもらうことの大変さを感じながらも、自分なりに工夫して積極的に関わる姿が見られ、ぜひ来年も参加したい、という感想までもりました。この他にも、中山児童館の児童の中で以前この活動に参加した子もお手伝いとして、グループのリーダーやプレゼンテーションの手伝いをしてくれました。</p> <p>児童館の先生から、今年は活発な子が多いというお話がありましたが、活動に入ると皆きちんと参加しており、犬の前で走ったり大きな声を出したりしないという約束を守っていました。一方、犬とのふれあいやゲームを楽しんでいる様子で、今回ふれあいのグループがゲームのチームとなったので、犬や飼い主との連帯感も強まり、ゲームが盛り上がりました。最後の子どもたちからの質問や感想も積極的に多く発表され、熱心に活動に参加した様子がうかがえました。</p> <p>また参加者の保護者にも活動を見学してもらい、家で飼えないので今日犬とふれあえてよかった、マナーを学ぶことができた、普段の子どもと違う様子が見られた、などの感想をいただきました。</p>

活動形態	動物介在教育／児童／集団
施設名	NPO法人みやぎ・せんだい子どもの丘 仙台市鶴巻児童館（仙台市内）
目的	震災から2年以上経ち、児童館に通う子どもたちも大分落ち着いてきたものの、中にはまだ時々苛立ちを見せる子もおり、また子育て中の保護者は毎日忙しく過ごしているそうです。そのような中、今年も犬とゆったりした時間を過ごしてほしい、という児童館の先生方の要請により、児童や幼児とその保護者が穏やかで優しい気持ちになれる活動を目指します。また、小学生対象の活動では、犬と仲良くなるだけでなく、少しレベルアップして犬の世話について学ぶことも支援します。
概要	<p>〈実施日〉 全2回 参加動物種：犬</p> <p>① 12/25 従事者数：10名・犬：4頭 対象者：小学1～6年生 18名・先生3名</p> <p>② 1/21 従事者数：11名・犬：4頭 対象者：乳幼児親子10組（22名）・先生3名</p> <p style="text-align: right;"><b>参加のべ数：従事者21名・犬8頭</b></p> <p>〈活動場所〉 鶴巻児童館遊戯室</p> <p>〈活動内容〉</p> <p>2回の活動どちらも、犬との正しいふれあい方やさわってはいけない時について実践を交えて体験してもらいました。その後、小学生対象の活動では「犬のお世話をしてみよう」をテーマに、犬と生活するのに必要なことをゲームや絵を使った説明を通して学んでもらいました。乳幼児親子の活動では、犬とゆったりふれあったり、犬と遊んだり、それぞれの親子が好きな活動をしてもらいました。</p>
成果	<p>今年度も館長先生はじめ担当職員の先生方のご協力のもと、2回ともゆったりとした活動の時間が過ごせました。小学生対象の活動では、昨年までの犬と仲良くなることに加え、犬の世話について知ること、子どもたちは新しい発見に驚きながら、さらに犬を飼う上での責任も感じる事ができたようです。また、何度も参加されているお子さんの人と関わる様子に成長がうかがえたのも嬉しいことでした。</p> <p>乳幼児親子対象の活動では、犬をさわったことのない子どもも安心してふれあいを楽しめていました。特に活動前は犬を怖がっていた子が、母親に促されるうちに徐々に犬との距離が縮まって、ふれあいでは自ら大型犬を選び、最後には「かわかった」「楽しかった」という感想をいただきました。犬とふれあう時の優しく穏やかな顔は、日ごろ何かと騒がしい児童館ではなかなか見ることができないものだ、という先生の感想もいただいています。</p>

活動形態	動物介在教育／児童／集団
施設名	NPOみやぎ・せんだい子どもの丘 利府町西部児童館（宮城県内）
目的	前年度に続いて、児童館に通う小学生の活動では「犬と仲良くなろう」をテーマに、初めてあった犬とのふれあい方やさわってはいけない時を学んでもらい、犬と優しくふれあうことで、他の人や動物にも優しく接することにつなげてもらえるよう支援します。また今年度は当児童館では初となる、幼児とその親を対象とする活動も行い、優しい犬とのふれあいを通して犬はこわくない存在であることを知ってもらい、人以外の動物の存在を身近に感じてもらうことを目指します。
概要	<p>〈実施日〉 全2回 参加動物種：犬</p> <p>① 7/13 従事者数：10名・犬：3頭 対象者：小学1～6年生 14名・お手伝いの小学生3名・職員4名</p> <p>② 11/27 従事者数：7名・犬：3頭 対象者：乳幼児親子2組（母親2名、幼児3名）・職員2名</p> <p style="text-align: right;"><b>参加のべ数：従事者17名・犬6頭</b></p> <p>〈活動場所〉 利府町西部児童館遊戯室</p> <p>〈活動内容〉 小学生対象の活動では基本的なプレゼンテーション（犬との正しいふれあい方と触ってはいけない時）を行った後、グループごとに犬とのふれあいを体験してもらいました。以前参加して今回もお手伝いを希望している上級生にはプレゼンテーションの手伝いや初参加の下級生のお世話など積極的に参加してもらいました。</p> <p>幼児親子対象の活動では、子どもたちがこわがらないよう、ゆったりとしたふれあいやボール投げなど犬に直接さわらない遊びなども取り入れました。</p>
成果	<p>小学生対象の活動では、今回初めて参加した児童もゆったりした時間を過ごすとともに、犬に対する興味も出てきたようで、活発に質問する姿も見られました。今年も第1回活動参加者がお手伝いとして参加してくれました。グループのリーダーとして、またプレゼンテーションのお手伝いや片付けなど積極的に活躍してくれました。子どもたちが楽しみながら続けてきた活動がそれぞれの自信につながったようです。アレルギーがある対象者への対応の仕方に課題が残りましたが、施設側の機転で事なきを得ました。事前調査を詳細にお願いしてきたことが素早い対応につながりました。</p> <p>幼児親子に対する活動では、初めて接する犬とのふれあいに最初はとまどっていた子どもたちも、徐々にリラックスした表情で犬とふれあったり遊んだりして、楽しんでいる様子でした。また、母親が、犬と飼い主との信頼関係から、子育てに通じる何かを感じ取ってもらえたようだ、という先生からの感想もいただきました。初回ということで参加者が少なかったのですが、ぜひ来年度もお願いしたい、という要請もいただきました。</p>

## 《その他の活動報告》

\*七北田小学校行事「夢フェスタ」で地域共生科の6年生児童が企画する「わんにゃんプロジェクト」に参加協力

実施日：10/19

実施場所：七北田小学校

従事者数：2名

## 《セミナー・しつけ方教室開催事業》

- ①動物介在教育セミナー（仙台市被災動物救護対策本部事業） 講師：柴内裕子先生  
実施日：6/27 実施場所：仙台市動物管理センター 会員17名・活動犬3頭受講
- ②動物介在活動ボランティア養成講座の開催（仙台市協働事業） 講師：エーキューブ理事  
実施日：10/16 午前 実施場所：中山市民センター会議室  
エーキューブ会員11名 一般受講6名 中山市民センター職員3名
- ③ボランティア養成 犬のしつけ方教室（仙台市協働事業） 講師：千葉陽子先生  
実施日：11/13 実施場所：仙台市動物管理センター  
会員・一般市民・動物管理センター職員受講  
『動物介在活動に参加するための犬のしつけの基本』初級クラス 会員12名・犬7頭受講  
『動物介在活動に参加している犬のレベルアップのために』レベルアップクラス  
会員12名・犬6頭受講

※上記活動実施に当たり、随時打ち合わせを行いました。

## 《不登校・ひきこもりの青少年対象のこころの支援》

- ①継続して対応している対象者・家族と通年で打合せ
- ②7/17 県立こども病院にて対象者の主治医（精神科医）・支援団体2つの方々と打合せ  
（グットフレンズ・プログラム）

## 《仙台市不登校支援ネットワーク関連事業報告》

- ①平成25年度不登校支援ネットワーク第1回運営会議  
実施日：5/29 実施場所：仙台市役所東二番丁仮庁舎2階第1会議室 参加者数：2名
- ②平成25年度不登校支援ネットワークボランティア養成講座Ⅰ・第1回ワーキング  
実施日：6/15 実施場所：仙台市適応指導センター 参加者数：1名  
講師：宮城教育大学教職大学院教授 佐藤静先生 「不登校児童生徒の理解と対応」他
- ③平成25年度不登校支援ネットワークボランティア養成講座Ⅱ・第2回ワーキング  
実施日：9/21 実施場所：仙台市適応指導センター 参加者数：1名  
講話Ⅰ講師：仙台市教育局学校教育部特別支援教育課 指導主事 山田隆氏  
講話Ⅱ講師：適応指導センター 指導主事 遠藤拓也氏
- ④仙台市適応指導センター「児遊の杜」開所10年記念シンポジウム  
実施日：1/21 実施場所：日立システムズホール仙台ホール 参加者数：3名
- ⑤仙台市適応指導センター「児遊の杜」開所10年記念祝賀会  
実施日：1/21 実施場所：ホテルモンテレ仙台 参加者数：1名
- ⑥平成25年度不登校支援ネットワーク第2回運営会議  
実施日：2/6 実施場所：仙台市役所東二番丁仮庁舎2階第1会議室 参加者数：1名

## 《研修》

- ①自主研修（検査、活動練習、準備等含む） **実施回数：全13回**  
実施日：4/24・5/15・6/26・7/10・8/20・9/17・10/5・10/9・10/22・12/17・1/29・2/12・3/18  
実施場所：仙台市動物管理センター ※10/5のみ別会場（仙台市内）  
参加のべ数：会員131名・犬53頭参加 ※他AAE練習10/9会員9名犬1頭参加
- ②講演会「震災後の活動から見えてきた子供の心のケア」聴講 講師 八木淳子氏  
実施日：12/10 実施場所：仙台障害者総合支援センター 参加者数：1名

## 《その他》

- ①河北新報社取材対応  
実施日：5/15 実施場所：仙台市動物管理センター 従事者数：1名
- ②河北新報社訪問活動取材対応＝施設の許可有  
実施日：6/19 実施場所：杜のホスピタル・あおば 従事者数：1名
- ③河北新報社取材（セミナー～AAE）  
実施日：6/27 実施場所：仙台市動物管理センター&荒井小学校用地仮設住宅 従事者数：2名
- ④訪問活動希望施設への説明（2か所）  
実施日：6/12・3/7・3/12 実施場所：仙台市内 従事者数：のべ4名
- ⑤利府町主催 こどものまち in りふ 招待参加  
実施日：11/17 実施場所：利府町役場 従事者数：1名
- ⑥こまくさ苑新年会 招待参加  
実施日：1/17 実施場所：仙台市内 従事者数：1名

## 2. 動物の防災及び被災動物の救護に係わる事業

### 《防災活動》

- ①災害時のペット同行避難リーフレット配布
- ②平成25年度仙台市総合防災訓練（仙台市動物管理センター協働）  
仙台市総合防災訓練でのペット同行避難啓発活動  
実施日：6/12 実施場所：市名坂小学校 従事者数：7名・犬2頭
- ③ペット同行避難訓練「夏休み！犬と一緒に防災訓練！」（仙台市動物管理センター協働）  
実施日：8/5 実施場所：仙台市動物管理センター 従事者数：6名
- ④電通等の防災企画「かけあがれ！日本」企画会議（仙台市動物管理センター協働）  
実施日：12/26・2/19 実施場所：仙台市動物管理センター 従事者数：のべ6名
- ⑤電通等の防災企画「かけあがれ！日本」  
災害時の動物愛護対策に係るセミナー&ワークショップ（仙台市動物管理センター協働）  
実施日：3/5 実施場所：仙台市動物管理センター 従事者数：9名・犬2頭
- ⑥取材対応  
6/12総合防災訓練会場にて宮城テレビ取材、共同通信取材  
実施場所：市名坂小学校（訓練会場） 従事者数：1名

### 《被災動物の支援活動》

- ①日本ヒューマン・アニマル・ネイチャー・ホント・ソエティからの義援金による事業の実施  
\*一時預かり犬の費用負担  
\*物資購入運送  
\*「特定非営利活動法人エーキューブ 2012 年度東日本大震災被災者支援 犬猫の避妊去勢手術費用補助」の実施
- ②宮城県内の仮設住宅等巡回 35回（物資搬送・飼養相談他）※獣医師等への連絡等、随時
- ③被災動物の救護・病院への搬送・里親探し・譲渡先への送迎・物資送付 他
- ④人・企業・団体等へフード・おやつ・ペットシート・衛生品等 支援の呼びかけ
- ⑤取材対応  
・7/28 仙台市発行「震災復興地域かわら版 みらいん」（あすと長町仮設住宅におけるエーキューブの活動）  
実施場所：仙台市動物管理センター 従事者数：1名



- ・9/2 仮設住宅入居のペット飼育者への聞き取り調査同行（立教大学大学院生のサポート）  
実施場所：荒井小学校用地仮設住宅 従事者数：1名
- ・12/8 東京の動物愛護協議会委員視察同行 実施場所：みやぎNPOプラザ 従事者数：1名

## 《その他》

- ①10/15「畜産の研究」依頼原稿を動物管理センター経由で提出  
→「東日本大震災・人と動物の共生の為に-NPO法人エーキューブの軌跡-」冊子完成
- ②1/24 杜の伝言板ゆるる『3 11 NPOの記録』取材用事前ヒアリングシート 原稿依頼対応（提出）

※被災動物救援活動等についての問い合わせに通年で対応しました。

## 《仙台市被災動物救護対策本部事業》

- ①対策本部会議 実施場所：動物管理センター
  - 9/11（復興公営住宅話し合い&対策本部まとめの冊子について） 従事者数：1名
  - 2/17（復興公営住宅入居説明会・対策本部終息延長・記念誌作成について） 従事者数：2名
- ②仮設住宅での動物介在教育の実施：6/27（詳細は別途記載）
- ③避難所・仮設住宅巡回
  - a. 支援物資配布・飼養相談（引き取り相談、シャンプー、しつけ、健康など）仙台市内仮設宅
  - b. あすと長町仮設住宅ペットの会支援 随時
  - ※あすと長町仮設住宅ペットの会主催 近隣の清掃・糞拾い参加協力 5/19 従事者数：2名
  - ※あすと長町仮設住宅訪問 飼養相談対応 10/4・7 従事者数：のべ4名
  - c. 六丁の目公園仮設住宅にてペット飼育者への聞き取り・飼養相談 8/28 従事者数：2名
- ④譲渡事業 実施場所：動物管理センター
  - a. 成犬譲渡会 全10回 従事者数：のべ81名・犬3頭  
実施日：5/26・7/3・7/28・8/22・9/29・10/23・11/17・12/15・1/19・3/16  
※3/16のみ「第8回成犬譲渡会および東日本大震災被災動物の追悼と感謝の会」として開催 従事者数9名
  - b. 成猫譲渡会 全7回 従事者数36名  
実施日：7/28・9/29・11/17・12/2・12/15・1/19・3/16
  - c. 譲渡被災犬同窓会 従事者数7名  
実施日：11/2 譲渡家族43組参加 従事者数4名  
※同窓会打合せ・準備 実施日10/28・11/1
  - d. 譲渡候補犬のシッター・グルーミング(シャンプー・カット等)・治療補助  
実施日：4/1~3/31の平日 11時~15時まで  
4月：17回(32名)・5月：12回(33名)・6月：11回(20名)・7月：11回(33名)  
8月：12回(25名)・9月：8回(20名)・10月：16回(22名)・11月：14回(33名)  
12月：14回(26名)・1月：15回(30名)・2月：16回(26名)・3月：14回(36名)  
通算160回実施 / 従事者数のべ336名 (※前年度：通算140回 / 従事者数のべ292名)
  - e. ボランティア(会員/非会員)受け入れ対応：K9(ケイナイン)シッター説明会 全5回  
実施日：5/13・6/20・11/21・11/28・3/24  
実施場所：仙台市動物管理センター 受講者数：7名・従事者数のべ：5名
  - f. 哺乳ボランティア交流会 実施日：5/20 従事者数：5名
  - g. 譲渡会・適正飼養等についての広報活動(チラシ・冊子配布)  
実施日：10/30一番町商店街 従事者数：のべ3名
  - h. 犬猫譲渡会・被災動物感謝と追悼の会(3/16)のチラシ配布  
実施日：2/27・28 市内計15か所 従事者数：のべ2名
  - i. シッター事業についてセンターとの打合せ 通年で随時
  - j. センター長期休館期間の譲渡候補犬・猫の一時預り(ゴールデンウィーク及び年末年始)  
※今年度はセンターからの要請なし

### ⑤動物愛護週間行事『動物慰霊祭』

実施日：9/7 実施場所：福祉プラザ

従事者数：6名

※チラシ・冊子配布 8/30 仙台駅前

従事者数：5名

### ⑥その他

・4/8 TV番組「オーバンです」取材

\*シッターの様子他 実施場所：仙台市動物管理センター

従事者数：3名

\*仮設住宅ペット飼育者の取材 実施場所：荒井小学校用地仮設住宅

従事者数：1名

・4/12 東京の動物愛護協議会 視察対応

\*被災動物支援聞き取り 実施場所：仙台市動物管理センター

従事者数：3名

\*被災地視察 実施場所：荒井小学校用地仮設住宅・荒浜

従事者数：1名

・5/13 TV番組TBC「Nスタみやぎ」取材

\*シッターの様子他 実施場所：仙台市動物管理センター

従事者数：4名

・12/16 日本動物福祉協会の災害復興住宅について聞き取り調査のサポート  
(対象：仮設入居のペット飼育者)

実施場所：あすと長町・荒井小学校用地各仮設住宅

従事者数：1名

・12/8 東京都動物愛護協議委員の被災地視察・聞き取り対応

実施場所：仙台市内

従事者数：1名

## 3. 人と動物の関係に係わる支援事業

### 《講演会・セミナー等参加・聴講》

①平成25年度 ボランティアフォーラム 出展参加

テーマ 『復興と地域力の回復。ボランティア活動の充実と協働の視点から考える。』

実施日：2/11 実施場所：エル・パーク仙台6Fギャラリーホール 従事者数：4名

展示物：エーキューブ鶴巻児童館活動のまとめ・犬用避難袋 他

②宮城教育大学 教育復興フォーラム 聴講

テーマ「平成25年度 学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業

『考えよう、子どもたちの未来を拓く学校と地域の再生支援』

実施日：3/9 実施場所：アエル30階

参加者数：1名

## 4. 動物愛護啓発に係わる事業

### 《マナーアップ啓発パンフレットの配布》

\*4月中の狂犬病予防接種会場にて(仙台市協働事業)

実施日：4/6・10・12・13・22・24・25・26

実施場所：仙台市内9箇所

従事者数：のべ10名

### 《GOOD DOGマナーアップ事業(宮城野区公園課委託事業)》

①榴岡公園マナーアップ啓発看板作成

②宮城野区民まつりしつけ教室&マナーアップチラシ配布

実施日：10/10 実施場所：仙台市内7箇所

従事者数：1名

③「みやぎの・まつり」散歩マナーしつけ教室講師

実施日：10/20 実施場所：榴岡公園 犬と飼い主ペア8組受講

従事者数：4名

④「みやぎの・まつり」参加者懇親会(反省会)

実施日：11/22 実施場所：仙台市内

従事者数：2名

《青葉区民まつり 散歩マナーしつけ教室実施&出展（仙台市協働）》

- ①青葉区民まつりしつけ教室&マナーアップチラシ配布  
実施日：10/12 実施場所：仙台市内7箇所 従事者数：1名
- ②青葉区民まつり愛犬マナーアップ コーナーしつけ教室講師  
実施日：11/3 実施場所：勾当台公園 犬と飼い主ペア9組受講 従事者数：5名

《サンライズ東照宮マンションでのしつけ教室（仙台市協働）》

実施日：11/30 マンションのペット飼育者30名受講 従事者数：5名

《「わんこ育て支援サロン」（通称：わん育サロン）》

本年度実施なし

《動物愛護に関する活動》

- ①仙台市動物愛護協議会に理事長が協議委員として出席および傍聴  
実施日：12/6・3/12 実施場所：仙台市役所本庁舎 従事者数：のべ5名
- ②動物愛護週間行事「長寿動物表彰式」（仙台市協働）  
実施日：9/7 実施場所：福祉プラザ 従事者数：3名

《仙台市動物管理センター アニマル愛称館銘板のお披露目（除幕式）参列》

実施日：3/28 実施場所：仙台市動物管理センター 参加者数：6名

《各種セミナーへの参加協力および受講》

- ①アニマルシェルターセミナー：「シェルターメディスンに関する講演」  
講師：田中亜紀先生・水越美奈先生  
実施日：6/16 実施場所：仙台コミュニケーションアート専門学校 従事者数：7名
- ②シェルターボランティアセミナー：「人と猫の共生の為にボランティアができること」  
講師：田中亜紀先生  
実施日：8/1 実施場所：仙台市動物管理センター 従事者数：5名
- ③動物愛護セミナー「より快適なシニアライフのために -自宅のできる簡単ケア-」  
講師：油木真砂子氏  
講師：NPO 法人社会動物環境整備協会認定講師  
実施日：9/7 実施場所：福祉プラザ 従事者数：6名
- ④適正な飼養の推進に係るセミナー  
講師：先崎仁氏  
実施日：1/30 実施場所：仙台市動物管理センター 従事者数：5名
- ⑤譲渡事業ボランティア養成セミナー（シッター研修）  
講師：三浦健太氏  
実施日：3/6 実施場所：仙台市動物管理センター 従事者数：14名
- ⑥飼い主のいない猫対策事業に関するセミナー  
講師：田中亜紀先生  
実施日：3/19 実施場所：仙台市動物管理センター 従事者数：4名

5. その他、第3条の目的を達成するために必要な事業

本年度実施なし

# 運営報告

## 1. 通常総会の開催

### ■第7回通常総会

日時：平成25年5月22日（水） 13：30～14：40 会場：みやぎNPOプラザ

議事：第1号議案 平成24年度事業報告及び決算の承認

第2号議案 平成25年度事業計画(案)及び予算(案)の承認

第3号議案 新役員(案)の承認

## 2. 理事会の開催

■平成25年度第1回理事会 4/2 みやぎNPOプラザ 出席理事8名・委任3名

議事：第1号議案：活動参加動物の検査代金について

■平成25年度第2回理事会 5/22 みやぎNPOプラザ 出席理事9名・委任2名

議事：第1号議案 理事長及び副理事長の選定について

■平成25年度第3回理事会 9/11 みやぎNPOプラザ 出席理事6名・委任5名

議事：第1号議案 検便検査機関変更に伴う検便代金の件

■平成25年度第4回理事会 12/10 みやぎNPOプラザ 出席理事9名・委任2名

議事：第1号議案：平成25年度中間監査報告

第2号議案：その他事業に関する件

## 3. 定例会等の開催

●第1回定例会 4/2 みやぎNPOプラザ

●監査準備 4/10・4/17 みやぎNPOプラザ

●NPO法人エーキューブ平成23年度事業・会計監査 4/25 みやぎNPOプラザ

●事業打合せ 5/8・5/28 仙台市内

●第2回定例会 6/11 みやぎNPOプラザ

●事業打合せ 7/5 仙台市内

●第3回定例会 7/16 仙台市動物管理センター

●第4回定例会 8/6 みやぎNPOプラザ

●第5回定例会 9/11 みやぎNPOプラザ

●第6回定例会 10/8 みやぎNPOプラザ

●事業打合せ 10/23 仙台市内

●NPO法人エーキューブ平成25年度中間監査 11/7 みやぎNPOプラザ

●NPO法人エーキューブ平成25年度中間監査後の話し合い 11/14 仙台市内

●第7回定例会 12/10 みやぎNPOプラザ

●第8回定例会 1/22 みやぎNPOプラザ

●事業打合せおよび「ボランティアになるための勉強会」準備 1/24 仙台市内

●第9回定例会 2/25 みやぎNPOプラザ

●事業打合せ 3/11 仙台市内

●第10回定例会 3/25 みやぎNPOプラザ

## 4. 理事研修 等

## 5. 運営体制

- ① 宮城野区公園課委託事業による収入の発生
- ② 各種ボランティア講座講師依頼による収入の発生
- ③ 仙台市被災動物救護対策本部構成団体としての一般への認知度のアップと収入に繋がる事業の拡大、また本会への寄付の増加
- ④ 口座振込用途の区分
- ⑤ 会員数
  - 平成 25 年 4 月 1 日現在 92 名 (正会員 87 名 (70 世帯)、ボランティア会員 5 名)
  - 平成 26 年 3 月 31 日現在 96 名 (正会員 92 名 (74 世帯)、ボランティア会員 4 名)
- ⑥ エーキューブ通信 (活動のお知らせ・参加者募集・その他連絡事項の伝達) を計 10 回発行。
- ⑦ 活動のお知らせ・手順プリント等 計 34 回発行。
- ⑧ その他、訪問施設や行政等への文書、賛助協力者への礼状等、随時送付。
  - 仙台市社会福祉協議会へ団体概要シート等提出 5/22
  - 役所関係手続き 4/11
    - ① 法務局にて登記事項全部証明書発行
    - ② 宮城県に法人県民税申告 ③ 仙台市に法人市民税申告
  - 総会関係の書類確認 5/21 仙台市市民局市民協働推進課・仙台法務局
  - 償却資産届け 5/23 仙台市役所
  - 役所関係手続き 5/30
    - ① 総額資産の変更及び理事の変更登記申請
    - ② 法人県民税添付書類提出 ③ 法人市民税添付書類提出
- ⑨ 事務局体制

理事長：齋藤文江

副理事長：佐々木ひとみ・千葉浩二・林博子

理事・事務局長：照井浩子

理事・会計：川上喜恵美

理事：渡邊圭子・後藤美佐・工藤梓・島田真須美・村上淳子

## 5. 所有品について

管理番号	購入日	品名	メーカー・型名	購入金額	備考
001	2007.8.24	携帯電話	au	5,221	009へ機種変更により廃棄
002	2008.10.28	ラミネーター		8,780	
003	2009.1.31	ビデオカメラ	日立 DZ-HD90	59,800	
004	2009.1.31	ビデオカメラ用三脚	TSC TS-004	2,980	
005	2009.1.31	カラープリンター	Canon ix5000	29,800	
006	2010.5.14	トリミングハサミ		19,635	
007	2010.9.9	ICレコーダー	SONY ICD-SX950/B	18,600	
008	2010.9.9	ポータブルDVDプレーヤー	東芝 SD-P12DTK B	36,800	
009	2011.3.28	携帯電話	au PT002 機種変更	0	
010	2011.5.18	ポラロイドカメラ	FUJIFILM instax mini55	6,770	
011					
012					

# 会計報告

## 1. 平成 25 年度特定非営利活動に係る事業会計財産目録 (NPO 会計基準)

平成 26 年 3 月 31 日

科目・摘要	金額(単位:円)		
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金			
現金手許有高	5,394		
郵便振替(ゆうちょ銀行 トクイーキューブ)	506,628		
郵便振替(ゆうちょ銀行 トクイーキューブセンドイ)	297,870		
普通預金(七十七銀行 加茂出張所)	424,408		
郵便預金(ゆうちょ銀行)	110,441		
立替金	0		
仮払金	0		
貯蔵品(切手類)	11,805		
流動資産合計		1,356,546	
2 固定資産	0		
固定資産合計		0	
資産合計(A)			1,356,546
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
前受金			
H26年度会費	85,500		
預り金			
H26年度ボランティア保険料	300		
未払金	0		
流動負債合計		85,800	
2 固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計(B)			85,800
<b>III 正味財産</b>			1,270,746

2. 平成 25 年度特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表 (NPO 会計基準)

平成 26 年 3 月 31 日

科目・摘要	金額(単位:円)		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	1,344,741		
立替金	0		
貯蔵品(切手類)	11,805		
流動資産合計		1,356,546	
2 固定資産			
固定資産	0		
固定資産合計		0	
資産合計			1,356,546
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	0		
前受金	85,500		
預り金	300		
流動負債合計		85,800	
2 固定負債			
固定負債	0		
固定負債合計		0	
負債合計(B)			85,800
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		1,312,231	
当期正味財産増加額		△ 41,485	
正味財産合計			1,270,746
負債及び正味財産合計			1,356,546

3. 平成 25 年度特定非営利活動に係る事業会計活動計算書 (NPO 会計基準)

平成 26 年 3 月 31 日

科 目	金額(単位:円)		
I 経常収益			
1 受取会費			
正会員受取会費		142,000	
賛助会費受取会費		16,000	
ボランティア会員受取会費		2,500	
2 受取寄付金			
受取寄付金		155,250	
東日本大震災支援金		109,000	
3 受取助成金等			
仙台市被災動物救護対策本部支援金		0	
4 事業収益			
事業収益		0	
5 その他収益			
受取利息	110		
雑収入	153,271		
保険料	20,700		
保健衛生費	0	174,081	
経常収益計			598,831
II 経常費用			
1 事業費			
(1)人件費			
人件費計		0	
(2)その他経費			
通信費	9,950		
携帯電話通信費	0		
印刷製本費	40,538		
消耗品費	190,969		
会議費	0		
接待交際費	0		
保健衛生費	161,132		
旅費交費費	86,850		
荷造運搬費	17,410		
保険料	0		
研修費	0		
支払手数料	0		
図書研究費	0		
諸会費	0		
雑費	0		
その他経費計	506,849		
事業費計		506,849	
2 管理費			
(1)人件費			
人件費計		0	
(2)その他経費			
通信費	31,760		
携帯電話通信費	39,126		
印刷製本費	1,355		
消耗品費	12,952		
会議費	15,220		
接待交際費	4,500		
保健衛生費			
旅費交費費	2,000		
保険料	20,700		
研修費	0		
支払手数料	2,645		
図書研究費	0		
諸会費	3,000		
雑費	209		
雑損	0		
その他経費計	133,467		
管理費計		133,467	
経常費計			640,316
当期正味財産増減額			△ 41,485
前期繰越正味財産額			1,312,231
次期繰越正味財産額			1,270,746

(注) 特定非営利活動促進法第28条第1項の収支計算書を活動計算書と呼んでいます。



#### 4. 財務諸表の注記 (NPO 会計基準)

平成 26 年 3 月 31 日

1. 重要な会計方針  
財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日NPO法人会計基準協議会)によっています。  
同基準では、特定非営利活動促進法第28条第1項の収支計算書と呼んでいます。

2. 事業別損益の状況  
事業別損益の状況は以下の通りです。

科目	動物介在活動・介在療法・介在教育並びに不登校に係わる事業	動物の防災及び被災動物の救護に係わる事業	人と動物の関係に係わる支援事業	動物愛護普及啓発に係わる事業	その他、第3条の目的を達成するために必要な事業	東日本大震災支援金	仙台市被災動物救護対策本部支援金	事業部門計	管理部門	合計
I 経常収支										
1. 受取会費								0	160,500	160,500
2. 受取寄付金						109,000		109,000	155,250	264,250
3. 受取助成金等							0	0	0	0
4. 事業収益								0		
5. その他収益								0	174,081	174,081
経常収益計	0	0	0	0	0	109,000	0	109,000	489,831	598,831
II 経常費用										
(1) 人件費										
人件費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) その他経費										
通信費	8,900	610	180	260		0	0	9,950	31,760	41,710
携帯電話通信費	—	—	—	—				0	39,126	39,126
印刷製本費	440	38,568	1,530	0		—	0	40,538	1,355	41,893
消耗品費	8,855	0	75,799	0		99,516	6,799	190,969	12,952	203,921
会議費			0			—	—	0	15,220	15,220
接待交際費						—	—	0	4,500	4,500
保健衛生費	111,132	—				50,000	0	161,132		161,132
旅費交費費						69,750	17,100	86,850	2,000	88,850
荷造運搬費						17,410		17,410		17,410
保険料									20,700	20,700
研修費									0	0
支払手数料									2,645	2,645
図書研究費									0	0
諸会費									3,000	3,000
雑費									209	209
雑損									0	0
その他経費計	129,327	39,178	77,509	260	0	236,676	23,899	506,849	133,467	640,316
経常費用計	129,327	39,178	77,509	260	0	236,676	23,899	506,849	133,467	640,316
当期経常増減額	△ 129,327	△ 39,178	△ 77,509	△ 260	0	△ 127,676	△ 23,899	△ 397,849	356,364	-41,485

3. 使途等が制約された寄付金などの内訳  
使途等が制約された寄付金等の内訳は以下の通りです。

内容	前期繰越額	当期受入額	当期減少額	次期繰越額	備考
東日本大震災支援金	263,899	109,000	236,676	136,223	
仙台市被災動物救護対策本部支援金	-13,831	0	23,899	-37,730	

# 監査報告

## 平成25年度 監査報告書

特定非営利活動促進法第18条の規定に基づき、平成25年度（平成25年4月1日～平成26年3月31日まで）の特定非営利活動法人エーキューブの業務及び会計の状況について監査を実施しました。

監査の方法は、重要な会議の議事録その他の重要資料を閲覧するほか理事から事業の報告を聴取し、また会計の状況については証拠書類の閲覧、照合、質問などの合理的な補償を得るための手続きを行いました。

監査の結果、法人の業務の執行に関しては法令及び定款に違反する重大な事業はなく、平成25年度の特定非営利活動法人エーキューブの会計の状況は適切なものと認められます。

平成26年4月24日

監事 雑 壇 豊 

監事 西 山 純 江 

## 寄付金・寄付物資報告

平成25年4月1日～平成26年3月31日まで、協力をいただいた方々です。

平成25年度のご協力をありがとうございました。

(順不同)

### ■寄付金

見並朋子様            夢創工房 水口弥様            松原路易子様            荒木 武様  
照井浩子様            齋藤文江様            川上喜恵美様            島田真須美様            高橋知佳子様

### ■寄付物資

佐々木達様            河原田実津世様            三浦弘子様            鈴木フジ様            荒悦子様  
松本様            笹原様            小塚様            今西久子様            小野寺様            及川章久(恵)様  
照井浩子様            齋藤文江様            村上淳子様            畠山有希様            林博子様  
川上喜恵美様            島田真須美様            渡邊圭子様            桂陽子様            佐々木ひとみ様  
後藤美佐様            佐藤マリ子様            川名美恵子様            橋本志緒里様            飯田明子様  
齋美智子様            工藤梓様            千葉浩二様            鈴木英子様            高橋美枝子様

## 東日本大震災寄付金・寄付物資報告

東日本大震災動物支援活動へのご協力ありがとうございました。

(順不同)

### ■寄付金

山田ちや子様            佃真紀子様            平井潤子様・            藤田朋子様

### ■寄付物資

足立洋子様            五十嵐晴香様            猪俣様  
夢創工房 水口弥様            動物の病院くすめ            楠目宏様            株式会社グレビス様  
ニッケ ペットケア株式会社様            株式会社 K9 ナチュラルジャパン様